

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 1 2 月 2 8 日

事業所名 NPO法人SUN-Tatebayashi ぼっこクラブ2

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	1	セッショングループの人数にあった広さのお部屋を使用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	8	0	基準の通り。また、ご利用児の特性等により、基準以上の必要十分な配置を行っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	1	学年や特性によって構造化や部屋のレイアウトに工夫があると良い。 グループの特性によって部屋の構造化（活動場所や物品の配置等）を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	1	セッションで使用しないもの（前のセッションのもの）が出ていることがあるため、片付けられると良い。日常業務中に対応しきれない細かな整理や清掃等は日を設け、定期的に実施している。一人ひとりの合わせた環境設定（パーテーション等）を行っている。毎日、サービス提供後に清掃を行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	0	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	7	保護者からいただいた評価結果を基に必要な改善を行っている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	今年度は、講師の都合により延期となったが、毎年、外部の専門家による研修を実施している。それに加え、事例検討等も行っている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8	0	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	0	Vineland II を使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	0	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	固定化(不適切なルーティン等) しないよう活動の設定を行っている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	8	0	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	0	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	支援計画に基づき、個々に合わせた記録用紙の作成をし、毎回記録している。

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	6か月以内に立案し、その都度モニタリングを行っている。計画の見直しがもう少し必要と感ずることもある。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	0	保護者の了承のもと必要に応じて園訪問等を行っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—	—	該当なし。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	—	該当なし。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	1	全員ではないが、保護者の意向や了承等を得た上で関係機関へ訪問や情報共有等を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	0	移行支援シート（小学校進学時の移行支援として個別に作成する情報シート）作成。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	3	近隣市町村に児童発達支援センターがないこともあり機会はありませんが、法人独自に高度な専門家講師による研修の機会を設けている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	8	保育園・幼稚園と併行利用の方が殆どのため。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	2	自立支援協議会には毎回、職員が参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	保護者へセッションの内容や様子をお伝えしたり、保護者からの相談等に対応する保護者担当職員を決めて対応している。基本的には、ご利用時にやり取りを行っている。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	8	0	保護者向け勉強会の開催やCAREプログラムの開催をしている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	0	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	保護者へセッションの内容や様子をお伝えしたり、保護者からの相談等に対応する保護者担当職員を決めて対応している。相談内容等は、保護者担当者から子ども担当者へ報告・共有を行っている。それに加え、お子さんの担当職員も事業所内相談等を通じて保護者からの相談等必要に応じて対応している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	1	保護者対象の茶話会を開催し、保護者間の交流や先輩保護者の経験談を聞く機会を設けている。また、毎回利用時にセッションの様子を観察いただいているが、その際に同じグループの保護者間において交流の機会となっている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1	ご利用時にその都度、口頭や掲示、書面等で周知を行ったり、ホームページを通じて発信等も行っている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	0	

	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	お子さんに合わせたコミュニケーションツールを使用している。また、保護者にわかりやすくお伝えするために、口頭だけでなく、文書や文字や図などを書きながら説明するなどを行っている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	7	障害特性や保護者の意向なども踏まえて機会を設けていない。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	0	職員研修やお子さんと保護者参加の避難訓練を定期的に行っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	2	アレルギー等についても確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8	0	